

新飯能

発行
日本共産党
飯能市委員会
973-1091

金子とし江
090-7265-1601
山田とし子
090-4389-4439
新井たくみ
090-4010-5650
滝沢おさむ
090-7000-4481

<議員団の連絡先>
973-2111(市役所456)
Mail jcp-sigi@pluto.plala.or.jp

オスプレイ配備撤回を

党市議団が市長に申し入れ

CV 22オスプレイを10月1日より横田基地に正式配備すると防衛省等が発表しました。この事を受け、共産党市議団は飯能市長に対し、オスプレイの横田基地への配備撤回と日米地位協定の早期見直しを国に求めるよう要請しました。



CV 22オスプレイは4月5日、横田基地に初飛行、その後、一時的立ち寄りとして横田基地へ飛行していましたが、6月23日に飛行以後は訓練飛行が常態化し、基地で

の離着陸訓練や飯能市など周辺地域での編隊飛行や旋回、夜間飛行訓練が頻繁に行われて

います。要請では、「一時的立ち寄りとしながらも日常的に飯能市上空での飛行が目撃されおり、市民からも不安の声が上がっている。

正式配備となれば、より低空での飛行や山間地での訓練が予想される。配備の撤回を求めるべき」と指摘しました。危機管理担当は、23日、北関東防衛局職員が説明に来庁

した際に、「CV 22の安全性、地位協定のうち特に飛行時間や高度の遵守、空路と飛行スケジュールを開示するよう求めている」と答えました。

飛行実態を示さないのが特殊作戦機 CV22

滝沢市議は、「この間の飛行実態を見ても、全く明らかにされていない。横田から三沢や岩国基地への飛行が確認されているが報告が無い、連絡が無く夜間の旋回飛行も度々行われている。特殊作戦を任務とするのがCV22であり、横田基地へオスプレイは配備すべきではない」と求めました。また、7月に開催された全国知事会で、日米地位

協定の抜本改定を含む「米軍基地負担に関する提言」が全会一致で採択され、日米地位協定を抜本的に見直し、航空法や環境法など国内法を原則として適用させること等を求めていることから、市としても国に強く働きかけるよう求めました。

10月1日から正式配備されるのは5機ですが、2024年ごろまでに段階的に機数を増やし、10機態勢とし約450名の兵員も増員されます。どんな飛び方をして日米地位協定上、運用にできない状況でCV 22

を横田基地に配備すべきではありません。



洋種山牛蒡(オウゴンヤマゴボウ)

北米からの帰化植物で、2mにもなる。花はつまらないが、紫黒色に熟した実はブドウの房の様に垂れ下がり見応えがある。

実は、染色や赤インクの代わりに使われたと言ったけあって、汁が付くと、容易に落ちない。全草が死に至る程の毒草だが、葉っぱを味噌汁に入れて食べたという話を聞いた。毒の成分がサポニンなので、加熱で毒性が無くなるのかも。但し、無理して食べる程の味では無いそうだ。

飯能市議会9月7日に開会 11議案と12決算認定などを審議

9月飯能市議会が9月7日から10月2日まで開催されます。

9月議会では、吾野、東吾野、西川小学校の統



廃合にともなう、市立学校設置条例の改正案や補正予算案など11議案と平成29年度一般会計決算・国民健康保険会計決算など12の決算認定などが審議されます。

9月議会は、前年度予算が住民本位に有効に使われたかの決算審査と来年度予算編成を前にした住民要求を取り上げる重要な位置づけ

の議会となります。

28日開催された議員全員協議会には、19件の報告事項がありました。

この中で問題と思われるのは、様々な問題・課題が多い阿須山中土地について、7月10日に事業者と覚書を締結し、協議を開始していること。また、企業誘致に関連して、企業立地奨励金を誘致エリアでも対象企業でもないフィンテック社のメッセアを対象にしている意向が示されたことです。これらの問題は、一般質問でも取り上げることにしています。

波紋

8月24日付東京新聞の投稿欄に、飯能市在住の増田公子さん(71歳)の投書「戦闘服での訓練をやめて」が載っていた。投書の内容は、飯能市の原市場・名栗地域での陸上自衛隊のレンジャー訓練実施を知らせる「自衛隊教育担当教官名」の回覧が、自治会を通じて回覧されたことで「戦闘服を着ての訓練は戦争のための訓練」であり、やめて欲しい。と

飯能市近辺では、同様の訓練が4年前から行われてきた。レンジャー訓練とは、米軍のゲリラ戦を想定した訓練をモデルにしたものだ。安倍内閣になってから自衛隊の本質が今、様変わりしようとしている。「戦争法」制定により集団的自衛権を想定した米軍との共同訓練の強化や陸上イージスの配備などだ。安倍首相は9月の自民党総裁選を前に、「次期国会で憲法改正法案を出す」と明言した。狙いは「憲法9条」を踏み越えて「戦争のための軍隊に様変わりした自衛隊」を憲法に書き込むというものだ。

医療・介護、経済政策を学ぶ

埼玉県地方議員研修会開かれる



8月21日、22日、群馬県安中市で、日本共産党埼玉県委員会主催の地方議員研修会が行われました。研修のテーマは、社会保障と経済で、元日本福祉大学教授石川満氏による「介護危機打開の方策と自治体の役割」、党中央政策委員会垣内亮氏による「アベノミクスの破綻と財政再建への

道「消費税増税なしに社会保障の財源は確保できる」の2本立てでした。「介護危機」では、政府の社会保障削減が具体的にどうなるのか？平成30年6月閣議決定された『骨太方針2018』では、特に高齢者の医療・介護給付費の伸びを、これまで以上に抑制することが強調されています。病院から在宅へ、介護施設から在宅へと「自宅での看取り」を増やすという

ことです。県の医療整備計画によって、飯能市では、医療・介護難民がどのくらい出ると予測されるのか？高齢者の単身世帯、夫婦2人世帯が増える中で、今のままでは在宅での高齢期を安心して迎えることはできません。社会保障給付費は伸びていますが、対GDP比では2013年度以降減らされ続けています。年金生活の中で、医療保険料・介護保険料が高齢者の暮らしを圧迫している状況が豊富な資料で解説され、人間らしい豊かな高齢期をつくるための提言がたくさん語られました。

アベノミクスの破綻と財政再建への道」では、アベノミクスの5年半で暮らしと経済はどうなったか？株式市場への公的マネーでは、「年金積立金管理運用独立行政法人」からの投入が40兆円、日銀の買い支えが26兆円で、株の買い支えに公的資金が66兆円投入されている異常さで、まさに、国民の財産を食い物にして大企業のもつけを優先する政治が大手を振ってやられている実態を示し講演しました。当面の運動として、政府に対して、地方の安定的な財政運営に必要となる一般財源の確保を要求することや、地方自治体が、「学校給食費の無償化」や「子ども医療費無料化の年齢拡大」などに踏み出すための議論と市民運動によって、市民生活を守っていくことと結びました。

2つの講演の後、沖縄知事選、来年の統一地方選挙、参議院選挙での躍進をめざして活動の交流も行われました。

半ノーテンキ 飯能天気家族(44) 作: 飯能



金管理運用独立行政法人」からの投入が40兆円、日銀の買い支えが26兆円で、株の買い支えに公的資金が66兆円投入されている異常さで、まさに、国民の財産を食い物にして大企業のもつけを優先する政治が大手を振ってやられている実態を示し講演しました。当面の運動として、政府に対して、地方の安定的な財政運営に必要となる一般財源の確保を要求することや、地方自治体が、「学校給食費の無償化」や「子ども医療費無料化の年齢拡大」などに踏み出すための議論と市民運動によって、市民生活を守っていくことと結びました。

うたごえと 平和懇談会

沖繩の平和を考え、語り合いましょう。平和の歌をみんなで歌いましょう。

9月9日(日)
午後1時30分
一丁目クラブ
飲み物、歌集、資料代500円
ギター、アコースティック、ピアノあり。
主催・奥むさし・文化9条の会

住民監査請求全文

(続く)
5、市は、7月7日に大河原観光トイレ新築工事設計とあわせ次年度以降に送ったはずの割岩橋観光トイレ改修工事設計業務委託契約を締結した。これらの設計業務委託契約も市議会が審議・議決した内容とは異なる重大な変更であり、予算議決主義を侵害している。しかも、割岩橋観光公衆トイレ改修工事は29年度は行わないと内部決済したものであり、次年度事業については前年度に置いて、業務委託契約を行うことは予算原則を損なうものであるのはむろん、行政執行の事実上の最高責任者とも言うべき副市長の下で決定したものを自ら否定する行為であり、理解不可能な対応である。
6、市は本事業の変更を4月29日には副市長決済の下、速やかに市議会に報告するとしながら、3ヵ月後の8月の全員協議会で報告した。内容は、「民間事業との連動を視野に入れ、割岩橋観光トイレのリニューアルに先立ち、今年度に飯能河原堰付近に観光トイレを設置する」としている。なお、その理由として「堰付近の観光トイレについての地元からの要望」を挙げているが、3月10日の「飯能河原利用調整会議」においても、委員からはリバンタを運営するフィンテック社に対してトイレの新設を要求しているだけで市の対応は求めていない。このことから明らかに、地元住民が市に求めていないものをフィンテック社に代わって市が行うとしたこの事後報告は議会の予算審議権を踏みにじると共に、市民の貴重な税金を3900万円も支出し、自治体の使命を逸脱したものである。本来、行政には次年度まで待てない必要な事業については補正予算の提出が認められている。仮に、大河原観光公衆トイレが真に必要なと判断したのなら、6月議会でも補正予算を提案・審議を求めればよいのである。現に大河原観光トイレの入札は翌年1月に行われたのであるから、時間がなかったという理由は全く成り立たない。行政の怠慢では済まされず、重大な不当支出、議会無視、予算主義の侵害である。

みんなの声

翁長知事誕生の思い出と沖縄知事選！

私は4年前の沖縄知事選で応援に行ったことが昨日の様に思い出されま



勝利して踊る翁長さん

「沖繩の基地・平和問題」の学習会を開催、急な取組でしたが会場が満員の参加で埋まりました。そこで支援カンパを呼びかけたところ、大変な金額が寄せられました。私が代表して知事選の応援に入りました。活動は数日間でしたが投票日の投票箱が閉まるギリギリまで活動しました。投票日前日の最後の街頭演説会はその熱気を感じ、私は勝利を

翁長さんの訃報を受けて、その遺志を受け継ぎ、沖縄知事選挙勝利への気が周りからたくさん届いています。26日開催した「辺野古は今」の沖繩講演会は満席でした。今回の沖繩知事選は、今年の名護市長選の結果などを受けて自公維連合の体制で4年前より更に激烈になることは必至です。前回よりも更に支援を強め、地域から沖繩に連帯する活動と一緒に進めたいと決意しています。【奥むさし・文化9条の会・佐藤弘】